

<p>タイトル</p>	<p>平成31年度 一般入試（前期日程） 教育学部 音楽専攻 芸術・表現系共通小論文（音楽）、実技試験（器楽・声楽）</p>
<p>評価のポイント</p>	<p>☆系共通問題（小論文）〔前期〕</p> <p>①設問内容を正しく読みとって答えているか、個人的な思いこみや偏りのある内容となっていないか等をチェックします。</p> <p>②文章表現が明確で内容に説得力があり、一貫して論旨が良く整理されてまとまった文章となっているかチェックします。</p> <p>③設問内容に対して解答に欠損部分が生じていたり、一部分だけを強調しすぎたりして、幅広く、且つ奥深く考察されていないなど、構成全体のバランスをチェックします。</p> <p>④客観的に設問の課題や論旨を捉え、感想文のように主観的な表現に偏っていないかをチェックします。</p> <p>⑤誤字や脱字について十分にチェックします。</p> <p>☆実技</p> <p>（声楽）〔前・後期〕</p> <p>声楽の基礎的技能（音程・リズム・発声や発音、等）についてみます。 伸び伸びとした声、正しい発音でいかに楽曲の内容を的確、且つ豊かに表現できるかをみます。</p> <p>（器楽）〔前・後期〕</p> <p>テンポ設定、ダイナミックス、リズム、それに音質等が適正に表現されているかをみます。</p> <p>（楽典）〔前期〕</p> <p>解答例を参照してください。</p>

平成31年度 一般入試（前期日程）

教育学部 音楽専攻

芸術・表現系共通小論文（音楽） 解答例

ふるさとを指導するにあたって、重要なことは三点あると考えます。

第一に、誰にでもあるそれぞれのふるさとの心情を、いかに大切に歌うかについて理解させることです。そのためには、歌詞を声に出して読んで、それぞれの思いを子どもたちで共有する、または、家に帰って親や祖父母のふるさとの話を聞く活動を取り入れます。そして、大切な言葉の発音方法を考え、よく伝わる方法を互いに聞きあいながら試します。

第二に、この曲は三部合唱であることから、それぞれのパートをよく理解し、他のパートにつられることなく歌えるようにします。そのためには、教師が主旋律を弾きながら、子どもたちが個々のパートを練習します。そして、お互いのパートの響き合いを考えて、美しく響き合うためにはどうしたらよいか、子どもたち同士で音を出して確かめ合いながら、工夫して表現できるようにしたいと思います。

第三に、この曲は4小節かけてクレッシェンドとデクレッシェンドが記されており、2段にまたがる8小節のフレーズとして音楽を感じられるようになっています。そのため、旋律線に沿った強弱の変化を工夫しながら、第4フレーズのはじめにある曲の山を自ら発見し、それを生かして歌えるようにします。そのためには、強弱を表記しない楽譜を用意し、旋律線に合わせて手を上下に動かすなどして、音階の高低変化やフレーズ感を感じ取らせながら歌い、曲の山に気付かせたいと思います。

このような活動を通して、子どもたちが主体となって、他者を感じながら自らの考えを引き出せるような指導を行いたいと思います。